



玉列神社の本殿―桜井市慈恩寺で

玉椿の祭り 心尽くし接待

（奈良まほろばソムリエの会員 田中孝憲）

玉列神社は「延喜式神名帳」にも記載され、旧伊勢街道の初瀬谷で最古の神社と伝わります。祭神の玉列王子神は、三輪の大物主大神の御子神で、円満成就、延命長寿の神様として尊ばれています。

一説には雄略天皇の泊瀬朝倉宮伝承地の間近に鎮座することから大和王権の三輪山祭祀の南麓



玉列神社（桜井市）



（住所）桜井市慈恩寺3883
 （祭神）玉列王子神
 （交通）近鉄大和朝倉駅から徒歩約5分

（拝観）境内自由
 （駐車場）無
 （電話）0744・42・6738

境内には安永年間（1772〜81年）建立の石鳥居、江戸時代中期に寄進された石灯籠や狛犬があります。

特に「金色の御砂」は商売繁盛をはじめ土地や家屋のおはらいにも霊験あらたかとされ、火難除けなど招福のしるしとして喜ばれています。拝殿

境内からは神武天皇ゆかりの鳥見山をはじめ、多武峰や朝倉富士といわれる外鎌山も望め、「こもりくの泊瀬」と「万葉集」に歌われた古代の情景にゆっくりと浸ることができます。